

①編修趣意書（教育基本法との対照表）

| | | | | |
|-----------|-----------|--------------|------|----|
| 受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
| 28-97 | 高等学校 | 国語科 | 現代文B | |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 | | |
| 15・三省堂 | 323 | 高等学校現代文B 改訂版 | | |

1. 編修の基本方針

教育基本法第二条に示されている教育の目標をふまえ、教材の選定・作成および構成・配列について、以下の点を基本方針としました。

- 1 現代に生きる人間として、生徒たちが自らの思考力、認識力を高め、人生、社会、言語について思いを深めることができる教材を精選する。
- 2 人間の普遍的な生き方や心情を情緒豊かに表現した作品を教材化し、感受性・創造力を高めることができるよう配慮する。
- 3 日本の言語文化の諸相を幅広く取り上げ、さまざまな角度から言語文化の諸側面にふれ、日本の伝統文化にふれることができるよう配慮する。
- 4 日常生活において、適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高め、必要な言語能力を確実に身につけられる教材を精選する。
- 5 体系的な知識の習得と生徒の自発的・継続的な学習の流れに配慮して構成・配列を工夫する。

2. 対照表

| 図書の構成・内容(教材名) | 特に意を用いた点や特色 (〈〉内は教育基本法からの引用) | 該当箇所 |
|---------------|--|---------|
| 1部 | | |
| 文系と理系の壁はあるか | 自らの体験に基づいて、文系と理系とに二分する考え方の陥穽とそれに囚われない視野をもつことを説いた文章を読み、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、真理を求める態度や豊かな情操、道徳心を培い、健やかな身体を養うことを目指した。【第一号〈幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。〉】 | P.8～11 |
| 市民のイメージ | アメリカの陪審員制度を例に市民とは何かを考察する文章を読み、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。【第三号〈正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。〉】 | P.12～17 |

| | | |
|----------------|---|-----------|
| 人類による環境への影響 | 人類の対照的な二つの対環境戦略について論じ、地球の生態系の未来について示唆する文章を読み、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。【第四号<生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。>】 | P.56～65 |
| 忘れられる権利 | 個人の意志とは無関係にインターネット上に残ってしまう情報をどのように扱っていくべきか、ヨーロッパとアメリカの対応の違いなどをあげながら探っていく文章を読み、個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指した。【第二号<個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。>】 | P.82～87 |
| 病と科学 | 医学などにおいて、ともすれば病気のみに着目し病人を置き去りにするおそれがあることに言及した文章を読み、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、真理を求める態度や豊かな情操、道徳心を培い、健やかな身体を養うことを目指した。【第一号<幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。>】 | P.88～95 |
| スポーツとナショナリズム | スポーツの応援において人々がナショナリズムを発揮する要因を考察する文章を読み、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。【第五号<伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。>】 | P.140～147 |
| 戦争の<不可能性> | 現代における戦争とはどのようなものであるかを、かつての戦争との対比や歴史的な経緯を通して捉え直す文章を読み、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。【第四号<生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。>】 | P.156～161 |
| 「である」と「する」こと | 「である」価値・「する」価値という概念から近代社会を問い直す文章を読み、個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指した。【第二号<個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。>】 | P.162～173 |
| ネット上の発言の劣化について | 情報・メディアや芸術・文化、臓器移植など、現代的なテーマの文章を読み、著者の考え方を読み取るとともに自分の考えをまとめる学習を通して、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。【第三号<正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。>】 | P.210～213 |
| 空白の意味 | 日本画の特徴である空白という存在が生み出す効果と鑑賞者に与える影響を述べた文章を読み、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくん | P.214～216 |

| | | |
|---------------|---|-----------|
| | できた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。【第五号<伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。>】 | |
| 2部 | | |
| ぬくみ | 近代の都市生活における「相互性」「他者への想像力」の大切さを説く文章を読み、個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指した。【第二号<個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。>】 | P.218～225 |
| 「なぜ」に答えられない科学 | 科学は現象の法則性を明らかにするが、その理由を証明しているのではないことを述べた文章を読み、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、真理を求める態度や豊かな情操、道徳心を培い、健やかな身体を養うことを目指した。【第一号<幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。>】 | P.226～230 |
| 虚ろなまなざし | 死の淵をさまよう少女を撮影した写真から現代の世界が抱える問題をどのように受けとめて行動するのかを考察した文章を読み、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。【第四号<生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。>】 | P.242～249 |
| 擬似群衆の時代 | 情報化社会の中で群衆がその性格を少しずつ変えつつある状況を指摘した文章を読み、個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指した。【第二号<個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。>】 | P.258～265 |
| ある<共生>の経験から | 共生という営みについて、自らが体験した過酷な状況下における人間どうしの関わりから得た実感に基づいて考察した文章を読み、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。【第三号<正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。>】 | P.266～273 |
| 陰翳礼讃 | 日本料理の器や食材が、薄暗い場所に置くことで初めてその魅力が際立つことを述べた文章を読み、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。【第五号<伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。>】 | P.276～281 |
| 日本文化の雑種性 | 伝統的な日本文化と西洋の影響を受けた文化とが深い所で絡み合っているところに日本文化の特徴がある、とする文章を読み、伝統 | P.282～292 |

| | | |
|-------------|---|-----------|
| | と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。【第五号<伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。>】 | |
| 累積的社会・停滞的社会 | 世界の多様な文化や文明の発達を累積と停滞という二つの視点で区別することの危うさについて述べた文章を読み、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、真理を求める態度や豊かな情操、道徳心を培い、健やかな身体を養うことを目指した。【第一号<幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。>】 | P.390～397 |
| 写真に何が可能か | 写真を撮る・見るという行為が私たちの世界の捉え方にどのような影響を与えるのかを分析した文章を読み、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。【第三号<正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。>】 | P.398～405 |
| 情報の読み方・扱い方 | 日本の人口ピラミッドや地球規模での温暖化やエネルギー事情などについてのデータをもとに、自らの考えをレポートなどにまとめる活動をおとして、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。【第四号<生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。>】 | P.406～409 |

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

上記の記載以外では、特に以下の点に意を用いました。

- ・学校教育法第五十一条二号の「一般的な教養を高め」る目標に供するために、現代評論の主要なテーマである「近代／環境／言語／グローバルゼーション／生命・身体／メディア・情報／芸術・文化」の七つを掲げ、それぞれについて歴史的な流れや現代における課題などを解説した「現代評論を読むために」を設けました。また、巻末や見返しに教材に関連したカラー資料を掲載するとともに、折り込みで「近現代文学史年表」を設けました。
- ・学校教育法第五十一条三号の「個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養う」目標に供するために、教材と関連した多様な書籍を紹介する「読書の扉」を設けました。
- ・学校教育法第三十条第二項の「基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養う」目標に供するため、各教材の「学習の手引き」においては、問いを段階的に設定し、学習者の主体的な学習を促すとともに、読んだことを表現活動につなげる「言葉と表現」を設けて、表現力を養うことに意を用いました。

①編修趣意書（学習指導要領との対照表，担当授業時数表）

| 受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|-----------|-----------|--------------|------|----|
| 28-97 | 高等学校 | 国語科 | 現代文B | |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 | | |
| 15・三省堂 | 323 | 高等学校現代文B 改訂版 | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

（1）教材選定と作成の基本方針

1 近代以降のさまざまな文章を読む能力を高め，読書力を着実に身につけ確かなものにする教材

教材の選定，教材化に当たっては，国語総合における学習の成果を発展させ，高校生として望ましい高度な国語力を身につけ，その言語世界が豊かに広がってゆく可能性を持つ評論・文学作品を選びました。

2 現代社会に生きる生徒たちが直面する諸問題に主体的にかかわることのできる，問題意識の明確な評論教材

生徒たちの論理的認識能力の向上を目指すという観点から，評論教材を特に重視しました。人間，社会，言語について生徒たちの知的好奇心を喚起し，さまざまな角度から，主体的に考え，理解を深めることができる評論を精選しました。

3 感性を磨き，心情を豊かにして，より深く人間という存在をとらえることができ，近代以降の人間の生き方や感じ方を描いた多様な文学作品

それぞれの時代に即して描き出されている人間の普遍的な生き方や心情を，情緒豊かに表現した文学作品を教材化し，現代の高校生が自らの想像力や感受性を高め，人生，社会について思いを巡らすことのできる清新な作品を教材化しました。

4 定評ある教材を精選し，清新な現代的話題の教材と組み合わせた斬新な構成

従来から教材として定評のある評論・文学作品を精選して理解学習を確かなものにすると同時に，現代的な問題意識にあふれた清新な評論・文学作品を教材化して生徒の国語力の基礎を固めるとともに，現代社会が直面する現実的な課題に立ち向かうことができるよう配慮しました。

5 多様な言語活動が具体的に展開できる教材

生徒たちが日常生活の中で直面する多様な言語活動に対応し実用性に富んだ実践的な学習活動が，教室の現実に即して行えるよう工夫しました。その際，言語活動を支えるための図書館を利用した情報収集，コンピュータや情報通信ネットワークの活用などにも配慮しました。

（2）構成と配列の基本方針

近代以降のさまざまな文章を対象とする「現代文B」の性格をふまえ，一つ一つの教材の価値を大切に，体系的な知識の習得と生徒の自発的・継続的な学習の流れを保証するため，この教科書では次のような構成で教材を配列しました。

1 全体の構成

学習の流れを重視し，全体を2部構成として，生徒の発達段階に即した学習指導ができるよう配慮しました。「1部」は高校生としての言語能力の発展，向上を目指し，「2部」ではその完成と発展を目指しています。「1部」「2部」とも従来のジャンル別理解学習単元の外に，文章に表れたものの見方や考え方について話し合ったり，課題に応じて必要な情報を読み取り，発表したりするなどの言語活動を実現できるような教材を配置しました。また，そのための教材選択に当たっては実用的な文章なども勘案しました。

さらに，1部・2部ともに評論単位には「現代評論を読むために」を配置して現代的な諸問題と重要語句の解説を行い，

それを「評論教材」と関連づけることで、評論読解の広がりや深化が図れるよう配慮しました。

2 教材の独自の価値の重視

教材をそれぞれのジャンルの特徴がはっきり理解できるよう位置づけると同時に、一つ一つの教材に独立性を持たせ、生徒たちが作品の持つ主題や文体に自由に迫ることができるようにしました。

3 単元構成について

「1部」「2部」とも、さまざまな学習計画に対応できるよう配慮しました。

「1部」は、全8単元で構成し、評論、小説、詩歌を学習計画にかなうよう適切に配置しました。「評論」は全11教材を四つの単元に、「小説」は全5教材を三単元に配置しました。

「2部」は、全3単元で構成し、「1部」での学習をもとにさらなる発展向上を目指しました。評論、小説、詩歌はそれぞれ一つの単元にまとめて配列し、「評論」は全10教材を、「小説」は全5教材を、「詩歌」は、「詩」「短歌」「俳句」をまとめて配置しました。それぞれの学習進度、興味、関心に準じて選択して学習できるように意図し、詩歌については、古典的な名作にあわせて現代の生徒の感性に直接はたらきかける作品を厳選しました。

4 単元の特設（「批評のまなざし」「現代評論を読む」）と読書指導への配慮

「1部」の最後に「批評のまなざし」という特設単元を設け、文章にあらわれたものの見方や考え方について課題に応じて必要な情報を読み取り、小論文を書くなどの言語活動を実現できるような教材を集めて、言語活動の充実を図りました。

また、「2部」の最後に「現代評論を読む」を設け、現代評論を読む鍵となるテーマを扱った長文の「評論」を並べ、決められた字数で要旨や主題をまとめる課題を付して、高等学校での現代文学習の最終到達点としました。さらに、教材の読解と読書とが響き合った形で実現できるよう「読書の扉」を設けて、生涯にわたる読書活動の道しるべとなるよう工夫しました。

5 教材の配列

教材の配列は、生徒の学習意欲を高め興味を持って取り組めるよう変化に富むものとししました。また、発達段階に合わせて平易なもの・親しみやすいものから次第に程度の高いものへと進むよう、配列には特別に意を用いました。

6 言語事項について

生徒が日常生活において言葉に対する関心を持つことができるよう、さまざまな工夫を凝らし、総合的な言語運用能力の向上をはかるため、特に配慮しました。実用的な文章や表現の学習場面では、音声、文字、それぞれに即した注意点を具体的に示しつつ、実践的に理解が深まるよう工夫しました。それぞれの教材に即して「言葉と表現」「漢字」「語句」などを設けて言葉の体系的学習指導を目指しました。

7 学習指導についての配慮

①学習の手引き……各教材の末尾に設け、内容を理解するための項目、その理解を高め発展させる活動を、問いや作業の示唆の形で適宜盛り込みました。

②言葉と表現……教材中の言葉や表現に着目し、表現力を高めるための課題や活動を設定しました。

③漢字……常用漢字の習得のために、教材中の注意すべき漢字を選び掲載しました。

④脚注……文章理解に過度のストレスがかからぬよう、わかりやすい注を施すことを心がけました。ただし、生徒が容易に調べられるものや文脈で理解できるものは除き、必要最小限のものに施すにとどめました。

⑤語句……教材本文に出てくる語句の中から、語彙をひろげる上で注目すべき語句や慣用語を選び出し、*印を付して見開きごとに脚注欄に示しました。生徒が習得し、日常の使用に利することが望ましいものを、生徒の語彙力を十分に考慮して選んであります。

⑥脚問……「☆」印を用いて、脚注欄に据えました。「脚問」は「学習の手引き」と有機的に関連づけてありますが、読解過程の部分的な問題点に気づかせ、それを全体へと展開させていく節目と位置づけました。これは学習上の補助的なもので、学習者の主体性や問題意識の芽を摘み取ることをないように配慮しました。

8 用字・用語・表記について

- ①送り仮名は、「送り仮名の付け方」（昭和四十八年六月十八日付内閣告示第二号）に定められている「本則」および「例外」によりました
- ②常用漢字以外の漢字については、原則として本文教材ごとの初出に振り仮名をつけました。
- ③常用漢字であっても、「常用漢字表」以外の音訓を使用している場合は、教材初出で振り仮名をつけました。また、常用漢字表内の音訓でも固有名詞など読みにくいもの、迷いやすいものなどには教材初出で振り仮名をつけました。
- ④仮名遣いは、口語体の文章は現代仮名遣いとし、いわゆる文語体の文章は歴史的仮名遣いとししました。振り仮名も同様です。
- ⑤詩歌教材・小説教材など形象性の強い作品の表記は、原則として原典および原作者の求める表記に従いました。
- ⑥外国地名・外来語のカタカナ表記については、「外来語の表記」（平成三年六月二十八日付内閣告示第二号）に従いました。

9 写真・挿絵・図版等について

教材の読解や鑑賞の補助的資料として、鮮明な写真、要を得た挿絵、見やすい図版等を必要に応じて掲載しました。

10 付録・その他

付録は、必要性と有用性、見やすさ、理解しやすさ、利用しやすさを信条とし、読解・鑑賞・調査などに生きる資料となるよう工夫しました。巻末には「生活調度」を、また折り込み別表として「近現代文学史年表」を、それぞれ本教科書で学習する上での有効かつ必要不可欠な情報として掲載しました。

2. 対照表

| 図書の構成・内容(教材名) | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当時間 |
|---------------|----------------|-----------|------|
| 1部 | | | |
| 文系と理系の壁はあるか | 指導事項ア・オ 言語活動例エ | P.8～11 | |
| 市民のイメージ | 指導事項ア・オ 言語活動例イ | P.12～17 | |
| 山月記 | 指導事項イ・オ 言語活動例ア | P.20～32 | |
| 少年という名前のメカ | 指導事項イ・オ 言語活動例ア | P.33～40 | |
| ミロのヴィーナス | 指導事項ア・オ 言語活動例イ | P.41～47 | |
| ホンモノのおカネの作り方 | 指導事項ア・オ 言語活動例イ | P.48～55 | |
| 人類による環境への影響 | 指導事項ア・オ 言語活動例エ | P.56～65 | |
| パンの話 | 指導事項イ 言語活動例ア | P.68～69 | |
| 帰途 | 指導事項イ 言語活動例ア | P.70～71 | |
| 永訣の朝 | 指導事項イ 言語活動例ア | P.72～77 | |
| 大きなる——短歌十六首 | 指導事項イ 言語活動例ア | P.78～81 | |
| 忘れられる権利 | 指導事項ア・オ 言語活動例エ | P.82～87 | |
| 病と科学 | 指導事項ア・オ 言語活動例イ | P.88～95 | |
| ロゴスと言葉 | 指導事項ア・オ 言語活動例 | P.96～103 | |
| 夏の花 | 指導事項イ・オ 言語活動例ア | P.106～124 | |
| ひよこの眼 | 指導事項イ・オ 言語活動例ア | P.125～139 | |
| スポーツとナショナルリズム | 指導事項ア・オ 言語活動例イ | P.140～147 | |
| 南の貧困／北の貧困 | 指導事項ア・オ 言語活動例イ | P.148～155 | |

| | | | |
|------------------------|----------------|---|--|
| 戦争の〈不可能性〉 | 指導事項ア・エ 言語活動例イ | P.156～161 | |
| 「である」と「する」こと | 指導事項ア・オ 言語活動例エ | P.162～173 | |
| ころ | 指導事項ア・オ 言語活動例ア | P.176～209 | |
| ネット上の発言の劣化について | 指導事項イ・ウ 言語活動例イ | P.210～213 | |
| 空白の意味 | 指導事項イ・ウ 言語活動例イ | P.214～217 | |
| 2部 | | | |
| ぬくみ | 指導事項ア・オ 言語活動例イ | P.218～225 | |
| 「なぜ」に答えられない科学 | 指導事項ア・オ 言語活動例イ | P.226～230 | |
| 身体〈の〉疎外 | 指導事項ア・オ 言語活動例エ | P.231～239 | |
| 虚ろなまなざし | 指導事項ア・オ 言語活動例エ | P.242～249 | |
| 猫は後悔するか | 指導事項ア・オ 言語活動例イ | P.250～257 | |
| 擬似群衆の時代 | 指導事項ア・オ 言語活動例エ | P.258～265 | |
| ある〈共生〉の経験から | 指導事項ア・オ 言語活動例イ | P.266～273 | |
| 陰翳礼讃 | 指導事項ア・オ 言語活動例エ | P.276～281 | |
| 日本文化の雑種性 | 指導事項ア・オ 言語活動例エ | P.282～292 | |
| 無常ということ | 指導事項ア・オ 言語活動例イ | P.293～297 | |
| 現代日本の開化 | 指導事項ア・オ 言語活動例エ | P.298～307 | |
| 舞姫 | 指導事項イ・オ 言語活動例ア | P.310～339 | |
| 檸檬 | 指導事項イ・オ 言語活動例ア | P.340～347 | |
| 美神 | 指導事項イ・オ 言語活動例ア | P.348～355 | |
| 鞆 | 指導事項イ・オ 言語活動例ア | P.356～360 | |
| 捨てない女 | 指導事項イ・オ 言語活動例ア | P.361～366 | |
| 涙の贈り物 | 指導事項イ・オ 言語活動例ア | P.367～375 | |
| ギリシア的抒情詩 | 指導事項イ 言語活動例ア | P.376～377 | |
| 湖水 | 指導事項イ 言語活動例ア | P.378～379 | |
| 時計 | 指導事項イ 言語活動例ア | P.380～383 | |
| 鞆韃は——俳句十六句 | 指導事項イ 言語活動例ア | P.384～387 | |
| 広がる言葉の世界【翻訳】 | 指導事項イ・オ | P.388～389 | |
| 累積的社会・停滞的社会 | 指導事項ア・ウ 言語活動例イ | P.390～397 | |
| 写真に何が可能か | 指導事項ア・ウ 言語活動例イ | P.398～405 | |
| 現代評論を読むために | 指導事項ア・ウ・エ | P.18～19, P.66～67, P.104～105, P.174～175, P.240～241, P.274～275, P.308～309 | |
| 表現と実用の文章 情報の読み方・扱い方 | 指導事項エ 言語活動例ウ | P.406～409 | |

| | | | |
|----------------------|--------------|-----------|--|
| 表現と実用の文章 報道の文章 | 指導事項エ 言語活動例ウ | P.410～412 | |
| 表現と実用の文章 調査から発表へ | 指導事項エ 言語活動例エ | P.413～415 | |
| 表現と実用の文章 脚本の世界－創作 | 指導事項エ 言語活動例ウ | P.416～420 | |
| 読書の扉 | 指導事項ア・イ | P.421～430 | |
| 広がる言葉の世界【名訳】 | 指導事項イ・オ | 後見返し | |

学習指導要領「現代文B」の内容

指導事項

- ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。
- イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。
- ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。
- エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。
- オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。

言語活動例

- ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。
- イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。
- ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。
- エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。